

Shuntの有無の判別は、IMPでは良好であったが、Tcでは、IMPの影響が残る、前回(TcおよびTl法)の結果よりやや低値となった。

IMP(20分後カウント比)とTcの面積比との相関は、 $r=0.85$ と良かったが回帰式は $y=0.38x-0.05$ とゆるい正の勾配を示し、IMPがShuntの有無の判別には適していた。

Tcのroute描出は、コントロール例では良く、シャント例では、あまり良くなかったが、SPECTにより、 коронаル面にて、シャント例では、門脈本管、側副血行路が描出できた。SPECTの収集開始時間、収集法、再構成法について、今後検討の余地があると考えられた。

34. ^{123}I -IMP 十二指腸内投与による門脈シンチグラフィ

柏木 徹	三重野正之	橋川 一雄
上原 章	小塚 隆弘	(大阪大・中放)
木村 和文		(同・バイオ研核)
佐藤 信紘	鎌田 武信	(同・一内)
東 正祥	満谷 夏樹	小泉 岳夫
(大阪厚生年金病院・内)		

^{123}I -iodoamphetamine (IMP)を直腸内に投与する経直腸門脈シンチグラフィが portosystemic shuntの測定など門脈循環動態の把握に有用なることを報告してきた。しかし、経直腸法では下腸間膜静脈系からみた門脈循環動態の検討であるため今回IMPを十二指腸に注入し、上腸間膜静脈系からの門脈循環動態の把握を試みたので報告する。

方法は空腹時にチューブを十二指腸に挿入してIMP 2 mCiを注入、仰臥位にてシンチカメラを胸腹部に設定し、60分間観察した。IMP直腸内投与と同様5分後には淡く肝イメージが出現し、次第に明瞭化した。肝硬変例では肺も描出され、肺のカウントを肝と肺のカウントの和で除することにより経直腸法と同様 portosystemic shunt indexが算出された。このshunt indexはIMP投与後20分ではほぼ一定の値となった。IMPが胃内に注入された場合には肝の描出はきわめて悪く、IMPは胃からほとんど吸収されないと考えられた。

したがって、IMPの十二指腸内投与による経十二指腸腸門脈シンチグラフィは上腸間膜静脈系からみた門脈循環動態を定量的に把握することができ、経直腸法と併用すれば門脈循環動態のより詳細な検討が可能となると考えられた。

35. Radionuclide angiography による各種薬剤の肝循環への影響の検討

塩見 進	黒木 哲夫	植田 正
小林 絢三		(大阪市大・三内)
池岡 直子	門奈 丈之	(同・公衛)
下西 祥裕	池田 穂積	越智 宏暢
小野山靖人		(同・放)

食道静脈瘤硬化療法(EIS)は多くの施設で施行され良好な成績をあげているが、抜針後の出血などの安全性には多少の問題点が残されている。ところでVasopressin(VP)は腹部内臓の細動脈を収縮させ、Nitroglycerin(NG)は強い静脈拡張作用により門脈圧を低下させるが、演者らはEISにVPおよびNGを併用することにより良好な治療効果を得ている。そこで、これらの薬剤が門脈血行動態に対してどのような効果を示すか、演者らが以前より報告しているRadionuclide angiographyによる門脈血流測定法を用いて検討した。

方法は $^{99\text{m}}\text{Tc}$ フチン酸 370 MBqを肘静脈より注入、シンチカメラ・コンピュータにて60秒間記録、肝 time-activity curveにおいて腎 time-activity curveがピークを示す時間までの放射活性を肝動脈成分(A)、それ以降を門脈成分(P)とし、門脈成分比(portal component)を算出した。

各症例において本検査にて門脈成分比を算出し、1週間後にVPは0.4 U/minの速度で、NGは0.8 $\mu\text{g/kg/min}$ の速度で点滴静注しながら同様の検査を行った。NG投与群では門脈成分比は $49.5 \pm 16.5\%$ から $44.5 \pm 19.5\%$ であまり低下していなかったが、VP投与群では $31.0 \pm 8.6\%$ から $16.7 \pm 5.4\%$ に低下していた。さらに、VPとNGの併用群では $39.5 \pm 16.1\%$ から $16.0 \pm 18.1\%$ に著明に低下していた。

36. 肝細胞癌における肝胆道系イメージング剤の動態解析

長谷川義尚	野口 敦司	橋詰 輝巳
井深啓次郎		(大阪成人病セ・アイソトープ)

肝細胞癌を肝胆道系イメージング剤投与後の後期イメージにおいて診断する目的では $^{99\text{m}}\text{Tc}$ -PMTが優れていることをすでに報告した。今回は $^{99\text{m}}\text{Tc}$ -PMTの肝腫瘍